

【緊急】住宅火災による死者が増えています！

大阪市で住宅火災による死者が増えています。
ご家庭内の安全確認を！

見守る気持ち、そのひとことが、火災を防ぐ第一歩！

⚠️ こんな火災が起きています！（実際の事例）

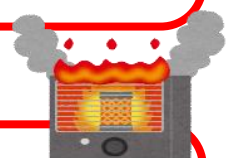
たばこ



- ◆ 高齢男性が布団上や、ベッド上でたばこを吸い、いつの間にか眠ってしまったため、布団に引火し出火。
- ◆ 高齢男性が普段から、布団やベッドの近くで喫煙し、灰皿の吸殻の火種が布団上に落下し、出火。



ストーブ

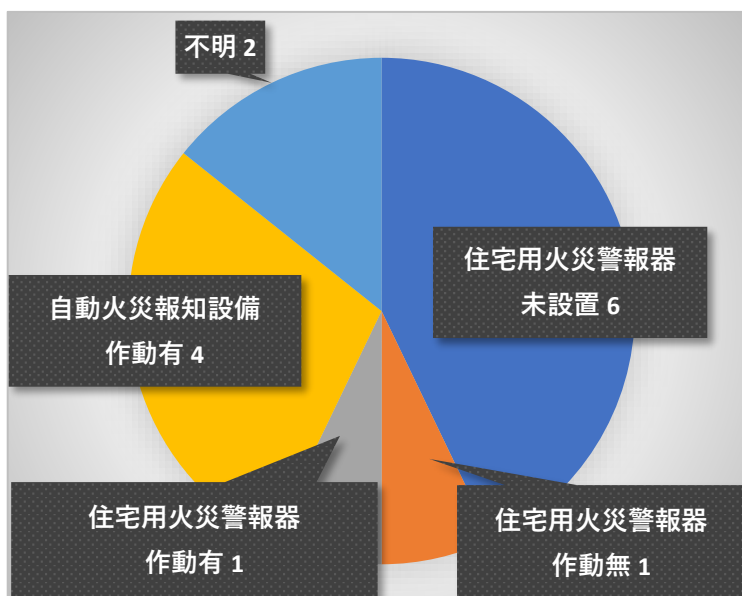
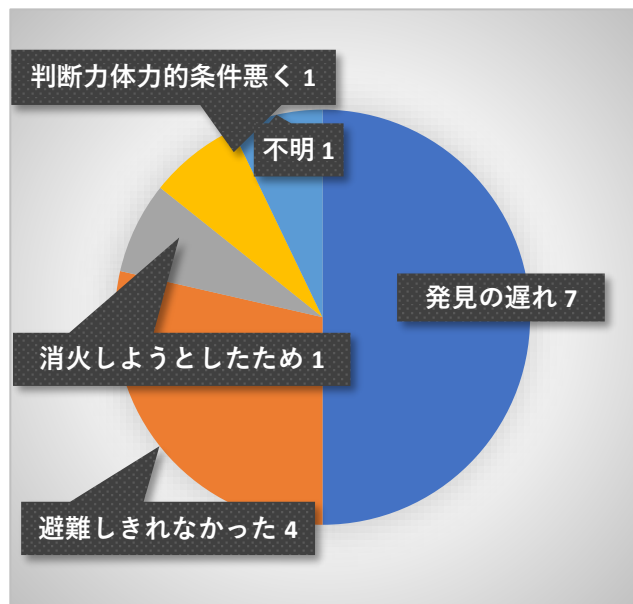


- ◆ 高齢女性が布団の近くにストーブを置いて就寝し、寝返りで布団がストーブに触れて出火。
- ◆ 高齢女性が普段から、電気ストーブの上で洗濯物を干しており、その洗濯物がストーブの上に落ちて出火。



整理整頓されていない部屋では火災発生のリスクが高まります
整理整頓は火災予防の第一歩です。大切な命と財産を守るために
ご協力をお願いします。

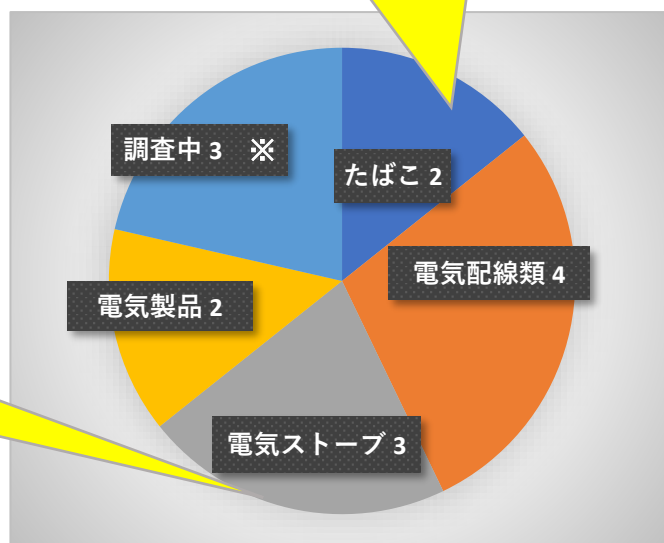
令和6年には、23名が住宅火災で亡くなり、令和7年は、既に14名が亡くなっています。特に、住宅火災による死者はすべて高齢者(65歳以上)であり、火災の発見の遅れや避難行動不十分といった理由で亡くなっています。また、住宅用火災警報器の未設置・未点検による火災発見の遅れやたばこの不始末、電気配線類の素人工事、電気ストーブ及び電気器具の誤使用などが火災の主な原因となっています。



住宅用火災警報器を
設置しよう！

ベッドの上で
たばこを吸わない！

ストーブの前に
燃える物を置かない！



※内2件は、たばこ又は電気ストーブの可能性が高い

住宅火災は、その多くがわずかな不注意や日常の習慣によって発生しているため、適切な予防対策を講じることで、未然に防ぐことが可能です。